

大和郡山 防災ニュース 29. 9月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

全市避難訓練に向けて地域の動きが始まっています。

11月12日午前10時開催の「全市避難訓練」に向けて、たくさんの自治会や自主防災組織からお問い合わせをいただいています。そのなかでよくあるご質問をご紹介します。

- ①避難訓練について、市役所から自治会・自主防災組織に対して、説明や指示をされてませんが、何をすれば良いのですか？

⇒つながり10月15日号で、全市避難訓練の特集記事を掲載して、訓練の流れをお知らせすると共に、新しい「防災マップ」を全戸折り込み配布する予定ですのでご覧ください。

自治会・自主防災組織へは市から直接ご指示等はいたしません。この機会に災害時、地域の住民がどこで一旦集合して、どの避難所へ避難するかという「避難計画」を住民同士で御相談していただき、集団で気をつけながら避難していただきますようお願いいたします。

- ②避難先は、市の指定する避難所以外ではいけませんか？高齢者も多いので今回は近所の集会所で点呼を取るところまでに留めたいのですが？

⇒地域において、集会所や空き地、公園などのいわゆる一次避難所まで避難して集合する訓練でも結構です。まずは災害時に初動が取れるか、だけでも価値はあると存じます。

- ③ただ単に、緊急速報メール（エリアメール）を受けて、避難所に行くというだけの訓練では、住民は動いてくれないのではないですか。

⇒今回は、初めての全市的避難訓練でございます。何かとご意見があるかとは存じますが、まずは基本的な訓練から始めさせていただきたい。今後は、訓練の結果を参考にしながら、地域の皆様にもご協力を仰ぎながら、実のある訓練を進めてまいります。なお、指定避難所までお越しいただいた方には、粗品（ウエットティッシュ）を配布予定です。

9月17日台風18号接近時に市内避難所のうち、7箇所の避難所を開設しました。

台風18号は、9月17日の午後9時から翌18日午前3時に奈良県に最接近するとの予報であり、当日の日没時間が午後6時であったため、午後4時の明るいうちに避難所を7箇所（三の丸、南部、昭和地区、平和地区、治道地区、片桐地区各公民館、矢田コミュニティ会館）開設し、ホームページや市民安全メールでお知らせして、自主避難に備えました。結果、台風は風が強かったものの、大雨や増水についてはそれほどではなく、自主避難者もないまま、午後10時18分に大雨洪水警報が解除されたため、午後10時20分に避難所を閉鎖しました。ニュースが他地方における台風の爪痕を報道するなか、郡山においてはさしたる被害がなかったことに安堵したものの、今後も警戒を怠らず、備えてまいりたいと考えています。

自治連合会常任委員会で自主防災組織結成について、お願いしました

去る9月21日、自治連合会常任委員会のお時間をいただき、自主防災組織について、ご説明いたしました。

自主防災組織の基本の仕事は、

- 住民が①「安全に避難すること」
②「安否確認ができること」
③「避難所運営ができること」の3つです。

①は、災害発生予測時に住民がまず近隣の一次避難所に集合し、集団で危険を察知し、安全を確保しながら自治会全体と合流して、市の指定避難所へ避難するいわゆる「集団的段階的避難」を行うことです。

②は、一次避難所に集合した際に、逃げ遅れた住民はいないか、安否確認ができることで、避難行動要支援者名簿などを活用していただくことで平常時からの計画を立てることができます。

③は、自治会毎でできることではなく、校区内の自治会の協議が必要のため、今後の課題です。

既に市内の先進的な地域においては、①と②について取り組んでおられるところもございますが、多くの地域では、①からのスタートになります、まずは自主防災組織未結成の自治会への組織設立にご理解ご協力をお願いいたしました。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#)

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!

[大和郡山市消防団へようこそ](#)

↗

発行人 市役所市民安全課